



墨東の学び

学校通信⑩号 1月 特別号
令和6年1月9日(火)発行
東京都立墨東特別支援学校
校長 田村 康二郎

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。いよいよ1年間の結びとなる3学期の開始です。また、高等部3年生全員の進路決定まで、もうひと頑張りの時期です。一層の御協力をお願いします。

【ありがとう】大谷翔平選手からのプレゼント到着！

1/5(金)に本校と各分教室に大谷選手から全国の小学校と小学部設置の特別支援学校宛の寄贈品「児童用の野球グローブ3種(右手用大1・小1、左手用大1)」が届きました。1/9(火)の本校体育館での始業式では、グローブと共に添えられていた大谷選手の思いが込められた学校関係者宛のお手紙を、墨東生に分かりやすいように抜粋・要約(下記参照)してから読み上げた上で小学部代表の児童2名が壇上で、3学期幕開けとなる始球式を行いました。式後は、正面昇降口の中に、拡大版のお手紙を掲示した上で展示し、墨東生の誰でも手に取れるようにしました。1週間程度経た後に体育館入口に置き、誰でも自由に使えるようにします。



グローブに付いていたカード



学校の皆様へ

メジャーリーガーの大谷翔平です。
学校に通う子供たちに野球に興味を持ってもらうために、3つの野球グローブを学校に贈らせていただきます。

私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは野球こそが私に充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校で共有して野球を楽しんでもらえたらと願います。

野球しようぜ

大谷 翔平

◆いるか分教室、かもめ分教室に届いたグローブについても各始業式で実物を紹介しました。

◆在宅訪問学級・病院訪問学級等の児童についても、自宅やベッドサイド等、今後の授業時に教職員が持参し、実感してもらう機会を用意しますので、楽しみにしてください。

【感謝！】大谷選手からの“多感な小学生たちにグローブを通して「スポーツの面白さ」「チームプレイ」の一体感の良さ等を感じ取って欲しい”とのメッセージをしっかりと受けて止めて、存分に活用していきます。

【速報】能登半島地震と特別支援学校

能登半島を含む石川県での特別支援学校の状況が心配されるようです。

全肢長会(全国特別支援学校肢体不自由教育校長会)と全肢P連(全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会)の両会長が現地の会員校長に支援を申し出る中で得た情報によれば、能登半島中部にある七尾市より南側にあたる加賀から金沢にかけての県立特別支援学校では、当初予定の始業式日(1/9)に3学期が開始できるように準備や安全確認を進めているところだそうです。

一方、能登半島に所在する七尾特別支援学校(本校:知的障害+在宅訪問学級)は、七尾病院分教室(病院内教育)、輪島分校(主に知的障害)、珠洲分校(主に知的障害)については、現時点で再開の見込みが立っていないとの事です。

→ 東日本大震災、熊本地震、西日本集中豪雨の際も、障害種別の校長会とPTA連合会が連携しながら、現地校と緊密に連絡を取り合い、支援要請があった場合には、「離れていても心は一つ」を合言葉に、全国の会員校に呼び掛けて、支援の輪を繋げて、現地に届けた実績があります。本校も会員校として、両会等から支援要請が届きました際は、速やかにお知らせしていきます。

1/5(金)「行動支援」教員研修会を開催しました！

教職員全員で学ぶ研修会「障害のある子供の行動支援～応用行動分析の視点を生かして～」を冬休み期間の最終日に開催しました。保護者の皆様にも聴講を御案内したところ、数名の方が参加して下さり、事後の個別相談にも御参加くださいました。「子供のより良い動作や行動を定着させる方法や改善事例に元気をもらいました。ぜひ、保護者向けの学習会も行なってほしい」とのリクエストも頂戴しました。今後実現していきます。

校長 田村 康二郎